

従業者向け

## 放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		設備基準に満たしている。指導員の目が届く配置をいつも考えています。活動ごとに動きやすいスペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		神戸市の人員基準に沿って配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		建物の構造上、入り口階段があるが手すりを設置して上る下りは職員が付いて補助し安全への配慮を心掛けています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、掃除、消毒を徹底。常時空気清浄機を稼働している
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて使用できる部屋、空間を確保している。また最近追加してロールスクリーンを設置し個室のできるようにした
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝・夕方に振り返りを行い、周知して更新している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ホームページにて評価表を公開、全体会議で検討・改善に取り組んでいます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングにて意見交換・検討・改善をおこなっています
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		外部講師や療育担当のスタッフを外より招き、情報・知財を得ています
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修や内部研修でレベルアップできる機会を作っています
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		Instagramにて公表
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用者や保護者の意見を取り入れた支援計画を作成しています
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の様子を職員間で常に共有し、しっかりと理解して子ども達に接するようにしています
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に全職員が目を通り、把握し話し合っている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フェイスシートを使った聞き取りをもとにしたアセスメント。日々の記録をとり、成長や様子がわかるように作成している。記録のつけ方もミーティングで見直しをしている
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスの提供すべき支援に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映し、設定しています
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムの内容や目的、子供の様子に合わせて職員の役割やサポートの仕方を話し合っています。引き続きプログラムの方向性を考えて立案していきたいと思えます

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	季節のモノを取り入れたり、1週間毎日プログラム内容は違います。引き続き、一人一人に寄り添ったプログラムを立案していきたいと思います
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	その旨を、取り入れながら個別支援計画に反映しています
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	毎朝のミーティングにて、利用者の確認、送迎ルートの確認、その日の活動の留意点等確認をおこなっています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援終了後、振り返りをし皆で共有するようにしています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日々の支援や様子等は、一人一人記録に残して振り返っています
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年に1回見直しをおこなっています
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	子供たちに沿って、基本活動を組合わせているが、感染症等のため地域交流等が以前よりは減っているため検討課題です
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	同じことをするのではなく、個々の能力に合わせてレベルを選択でき自己選択できるよう工夫しています
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者や代表が参加しています
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	必要に応じて、各関係機関と連携を図っています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	送迎時、必ず担任の先生との申し送りをします。そして各学校と何かあれば電話、または紙面で連絡があります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	必要に応じて情報提供をおこなっています
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	必要に応じて情報提供をおこなっています
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	感染症等の関係でなかなか交流が難しく検討課題です
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日々の送迎時に、子供の状況や課題について話し、必要に応じて個別で面談をしています
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	年一回保護者会を開催しています。今年は、同窓会も開催し現在通所されてる方も卒業生から色々お話を聞ける機会になるかと思えます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に説明させて頂いております。また不明な点は職員が説明するようにしております
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	面談のときに、双方の意見を出し合い子どもにとって一番いい環境を提供できるよう話し合っています
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	日々の様子と合わせながら、支援内容の説明を行い同意を得ています

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談や電話等で日々助言、支援を行っています
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		一年に一回保護者会を開催しています。できるだけ多くの皆様に参加して頂きたいと思っています
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		電話や面談にて迅速に適切に対応するよう努めております
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagramにて発信しています
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類等は鍵付きキャビネットにて保管し、処分するときはシュレッターまたは機密書類処分の専門会社に依頼しています
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		事務業務に関しましては、書面または連絡帳にて、できるだけ周知理科できるよう配慮しています
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	感染症等の関係でなかなか交流が難しく検討課題です
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		専門家に来て頂いて職員研修&訓練をしています
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP研修や訓練を定期的に開催しています
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始の際に、健康状態や薬の服用等確認しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがあるかないかを利用開始時にしっかり確認しています
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		避難訓練にて安全管理を確認しています
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	契約時に説明させて頂いています
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		すべて記録に残し周知するようにしています
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修後、日々からの支援の振り返るを行うよう心掛けています
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束について詳しく研修を行っています	